

協力隊通信 vol. 7

10月

地域おこし協力隊 移住定住コンシェルジュ 家財 綾

◆役場企画課総合政策室 ☎87-0521

移住や空き家の問い合わせが増えています。中でも「農業をやりたい」「農業を学べる所はないか」「農業体験をしてみたい」といった問い合わせが多く、Web会議システム（主にZoom）を利用したオンライン相談を実施しています。コロナ禍で、地方移住への関心は高まっており、コロナ禍でもできる形で飯豊町の農業ほか魅力をPRし、関係人口や移住へつなげていきたいと思ひます。

念願の！

9月7日、神奈川県から移住された加藤絵美さんが地域おこし協力隊に就任しました。待ちに待った新協力隊員です！ミツシヨンは異なりますが、飯豊町がにぎやかな町になるようアイデアを出し合つて活動していきたいと思ひます。2人になってさらにパワーアップした協力隊をよろしくお願ひします！来月から協力隊SNS（会員制交流サイト）を開設予定です！地域の魅力を発信していきたいと思ひます！



新しく地域おこし協力隊に着任した加藤絵美さん

中津川むらづくり協議会定住化特別委員会

8月28日、中津川むらづくり協議会定住化特別委員会に出席させていただきました。昨年度も実施した中津川移住者交流会について協議を行い、10月24日の開催に決定しました。その他に求人情報や移住者対応について情報共有しました。

空き家無料相談会の実施

8月30日、町民総合センター「あぐす」を会場に空き家無料相談会を行いました。昨年度に比べて相談数が増え、事前予約8組、当日受付1組の方から解体や売却についてのご相談を頂きました。

マルシェのお手伝いをさせてもらいました！

7月と9月に実施された「いいでらいマルシェ」のお手伝いをさせていただきました。

2回目のマルシェでは4名の中学生もお手伝いに来てくれました。「何をしたらいいですか」と率先して動いてくれてとても助かりました。2回ともに盛況だったマルシェ。コロナ禍において、予防対策を行いながらの実施となりましたが、また新しいつながりもでき、たくさんのお話を経験させていただきました。「次回はいつ？」と多くの声を頂いています。さまざまな面から振り返りを行い、検討していきたいと思ひます。



お手伝いに来てくれた飯豊中学校3年生とNPO法人みらいいでのみなさん

中学生が取材に来てくれました！

9月9日、飯豊中の勝見さんと田制さんが取材に来てくれました。総合学習の時間に、郷土である飯豊町の魅力や課題について学習後、実際に町内で活躍されている方への取材を通して、さまざまな生き方を学ぶ学習をしてい

るそうです。

・ 仕事はどんなことをしていますか
・ 仕事で心掛けている事は何ですか
・ 飯豊町に来たきっかけはなんですか
・ どんな中学生でしたか
などの質問に「移住フェアに参加したり、今はコロナの影響でオンライン相談を受け付けていたり、自分の移住経験から移住希望者の方のお手伝いや、移住後のアフターフォロー、空き家バンクの受付などもしている」「中学生にはぜひ一度町外に出てさまざまな事を学び、また町に戻ってきて欲しい、町の良さがよくわかると思う」などと活動写真や動画、更新しているホームページやフェイスブックを使ってお話しさせてもらいました！ぜひ中学生と一緒に飯豊の魅力発信動画を作成したり、イベントを企画したいです。



田制さん(左)と勝見さん(右)

空き家・移住相談実績

(8月20日～9月20日)

移住相談件数	2件
移住者数	1名
空き家バンク新規登録件数	2件
空き家バンク問合せ件数	5件